

平成 23 年 10 月 吉日

宇部市役所並びに市民の皆様へ

いわき市勿来支所職員一同

このたびは、東日本大震災の災害対策につきまして、多大なご支援を賜りまして、心からの御礼を申し上げます。

私たちは去る 3 月 11 日に起こった「東日本大震災」によって、1,000 年に一度という、不幸な歴史の一コマにめぐり合わせ、その結果、巨大地震、巨大津波のほかに、今回は 4 月の余震というにはあまりにも大きな 2 度にわたる地震、放射能被害、風評被害と二重、三重の苦難を強いられてしまいました。その打撃は甚大、かつ深刻なものでしたが、宇部市職員・市民の皆様はじめ、全国の皆様からのご支援によって、何とかここまでやって来ることができました。これも、皆様一人ひとりのお力添えの賜物と感じております。

特に、いわき市のなかでも勿来地区にあっては、宇部市職員の皆様による窓口支援をはじめ宇部市民の方々のボランティア支援をいただき、災害対策に当たってまいりました。これまでの苦闘を振り返ってみると、皆様によるお力添えがなければ、スムーズな対応はできなかったものと、深く感謝しているところであります。

今後、将来的に向かっては、「ああ、いわき市、勿来地区も復興した」と感じてもらえるよう、いわき市・勿来地区ともに復旧・復興に向けて全力で取り組む所存ではありますが、今後も温かく見守ってくだされば、と念じております。それが、皆様のご支援に応えることであると思っております。

今回、一定の区切りとして、何らかのカタチで些少なりとも御礼をしたいと思ひ立ち、私たち勿来支所職員の気持ちを「じゃんがら和紙人形」に託し、お送りいたします。

どうか、お受け取りいただければ幸いに存じます。

宇部市の今後ますますの発展と宇部市職員並びに宇部市民の皆様のご多幸をお祈りいたします。